

## 第6回埼玉県危機対策会議 知事訓示

八潮市中央1丁目の県道交差点の陥没によりまして、男性1名が乗ったトラックが落下する事故発生から、約80時間が経過した。救出活動に従事される方々の環境を整備すべく、県としても一刻も早く事故現場において、スロープの設置などを行えるよう全力を尽くしているところであるが、本日17時時点で救出に至っていないことは誠に残念である。

また、中川流域下水道を使用する12の市町にお住まいの県民、事業者の皆様におかれては、下水道の使用自粛について、大変なご協力をいただいていることに加え、周辺道路の交通規制などにより、多くの県民、事業者の皆様大変なご迷惑をおかけしている。

この事故に伴い被害に遭われた方にお見舞いを申し上げますとともに被害の拡大、そして影響を最小限にできるよう、最大限の努力をして参りたい。

他方、これまでも多くの職員の協力をいただいているところではあるが、引き続き国や市町村、消防、警察、ライフライン事業者などの関係機関との連携を密にし、陥没被害の拡大及び影響を最小限にとどめるための対応をお願いしたい。

特に、救助活動用のスロープ設置や道路陥没地点周辺道路の空洞調査、下水道管路のドローン調査、現場への汚水流量を減らすための下水道汚水の放流などの被害拡大防止・復旧に向けた取組を迅速に進め、救助活動を行う草加消防等の活動が一刻も早く可能となるよう、全力を挙げていただきたい。

被害拡大防止のため、様々な現地調査、取組を実施しているところではあるが、この影響は長期化する可能性が否定でない。様々な側面から地域を支えていくことが必要であるため、

引き続きワンチームでの対応をお願いする。

また先ほど下水道事業管理者からもあったとおり、県民向けのメッセージは明確にすべきであり、取水の自粛についても、風呂や洗濯などの回数を削減するなど、可能なご協力をという明確なメッセージを発していただきたい。

最後に、国土交通省、消防庁、自衛隊などの国や、日本建設業連合会をはじめとする企業団体の皆様には多大なご協力をいただいている。

改めて感謝を申し上げるとともに、県民の皆様にはこのように中長期化する影響が懸念される中、大変ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解をいただき、引き続き必要なご協力をいただけるようお願いを申し上げます。

以上。